留萌市議会だより

留萌市議会　検索

※左記のＱＲからも留萌市議会のホームページにアクセスできます。

第162号

議会ですこんにちは

主な内容

P 8 ・市民と議会の意見交換会
P 9～P10 ・各常任委員会からの報告
P11 ・令和7年度決算審査特別委員会からの報告
P12～P14 ・第3回定例会一般質問
P15 ・議会モニターからの意見を基に改善
・こんなことが決まりました
・令和8年度留萌市議会議員出席状況
・議会の動向 …… ほか

市民と議会の意見交換会を行いました

留萌市議会では、開かれた議会、市民参加の拡充などを目的に市民との意見交換会を開催しています。今回は９月28日㈪るもいプラザを会場にフリートーク形式で行い、９月29日㈫港西コミュニティセンターで、「子育て支援・高齢者施策・公共交通」をテーマとして意見交換会を開催しました。2日間合わせて21名にご参加いただきました。それぞれの立場や経験から多岐にわたる貴重な意見をいただきました。ご参加、ご協力いただきましたみなさまに深くお礼申し上げます。

意見交換会で出された意見の報告書は、市議会ホームページでご覧いただけます



28日は当日参加もＯＫというフリートークの形で行われました。当日参加の方３名も含めて２回、10名の参加をいただきました。「元町にある小学校を閉校してほしくない」「市内で閉店する店の話を聞くが、今あることに目を向けて、みんなで助け合える体制をつくることが必要」「生活での困りごとを相談する窓口が留萌市役所はわかりにくいので、市民に対して情報の伝え方をもっと工夫してほしい」など様々なご意見をいただきました。

29日の第１部は議会運営委員会、総務経済常任委員会、民生文教常任委員会の各委員長から報告し、第2部では「子育て支援・高齢者施策・公共交通」のテーマで11名の市民が意見交換しました。「０歳～２歳の保育料無償化、就学前の子どもの給食の無償化を」「子育て世帯の住環境を整えるための『るもい定住促進・住環境向上支援助成金』の市民への周知を」「バス停が遠く、歩けない人はタクシーしか選択肢がなく、費用負担が重い」「介護タクシーを使いやすくする仕組みを作って欲しい」「草が伸び放題で遊べない公園が多い」「中学校の部活動の遠征時などの移動について、保護者負担が大きい」「おむつなど燃えないゴミを週２回にできないか？」「商店街から高齢者が買い物によく使う店舗スーパーが閉店すると聞くが、買い物難民対策として、移動販売車を市の補助で運営できないか」など貴重なご意見をいただきました。

市民のみなさまからいただいたご意見について総務経済・民生文教常任委員会で検討し、後日、最終報告書を公表いたします。

総務経済常任委員会の報告

アウトドア・アクティビティ拠点施設の開業 令和7年度ふるさと納税約15億8千7百万円

◎委 員 長　戸水美保子　　•村上　雅彦　•小野　敏雄　•野崎　良夫
○副委員長　宇川　達朗　　•鈴田　亜湖　•村山ゆかり

総務部、地域振興部、都市環境部からの議案・報告・情報提供事項について確認した。

【総務部】

議案事項では、令和7年度決算、令和8年度補正予算などの説明を受け確認した。情報提供事項では、第7次留萌市総合計画策定市民会議の開催結果や地域おこし協力隊の着任などについて説明を受け、確認した。

【地域振興部】

議案事項では、令和7年度決算、令和8年度補正予算案などの説明を受け確認した。7月、アクティビティ拠点施設がオープンし、オープン期間の来場者数が約2万3,000人となったことが報告された。また、令和7年度ふるさと納税(留萌市応援寄附事業)は、10万件、金額は15億8,700万円となり、この寄附金を活用した報告書が示され、76事業に活用された。さらに、留萌市生活応援プレミアム商品券発行事業の実施結果について説明を受け、確認した。


▲拠点施設オープンセレモニー

【都市環境部】

議案事項では、令和8年度一般会計補正予算、令和7年度留萌市下水道事業会計の決算、同じく令和7年度留萌市水道事業会計の決算の概要について説明を受け確認した。

情報提供事項では、留萌市都市計画マスタープラン及び留萌市立地適正化計画の内容、記録的短時間大雨による浄水場の濁水対応と送水管漏水対応速報について報告を受け、確認した。

総務経済常任委員会行政視察「石川県加賀市、小松市」

総務経済常任委員会は、石川県加賀市及び小松市において、地域おこし協力隊、観光・中心市街地活性化、公共交通並びに空き店舗対策に関する行政視察を実施した。

加賀市では、地域おこし協力隊が、移住支援、空き家活用、農業など、分野ごとに明確な任務を担っている。委嘱前の現地体験や面談、委嘱後の支援により、地域とのミスマッチを防ぐ体制が整えられていた。農業分野では受入農家を「師匠」と位置付け、営農と生活を支援している。定住まで見据えた制度運用は、留萌市においても参考となる。観光施策では、温泉地や北前船、山中漆器等を活用し、旅館内で完結する観光から、温泉街を回遊する観光への転換を進めている。片山津温泉では、最大500万円の新規出店支援やチャレンジショップを実施していた。



小松市では、公共ライドシェア「i-Chan」により、バスやタクシーが対応しにくい地域や時間帯を補完している。タクシー事業者と共同運営し、既存交通との役割分担にも配慮していた。南部地域では、住民説明会やスマートフォン教室を重ね、予約方法など実際に利用できる段階まで支援している。今後検討されている留萌市のデマンド交通においても、電話予約のしやすさや高齢者への周知方法を含め、市民が実際に利用できるよう支援することが重要である。



また、小松市では空き店舗を活用した創業支援を進めているが、大学や複合施設の集積、企業研修生等による人流も効果を支えていた。補助制度だけでなく、人流の創出や都市機能の配置を併せて検討する必要がある。今回の知見を今後の委員会審査に反映していく。

【留萌市議会事務局】TEL42-1907 FAX43-6700　URL:https://www.e-rumoi.jp/gikai/index.html　E-mail:rumoishigikai@basil.ocn.ne.jp

民生文教常任委員会の報告

スポーツセンター改修に伴う休館 市立病院経営強化プラン見直し

◎委 員 長　田村　裕樹　　・川村　忠司　・横田　美樹　・村上　　均
○副委員長　小沼　清美　　・燕　　昌克　・米倉　靖夫

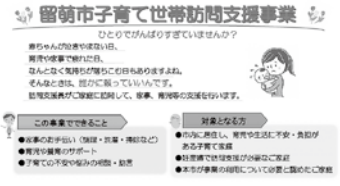
市民健康部、教育委員会、留萌市立病院の議案・情報提供事項・報告事項について確認した。

【市民健康部】

令和８年度一般会計補正予算では、物価高騰対策生活応援事業（高齢者等住民税非課税世帯支援分）、令和８年度介護保険事業特別会計補正予算について確認した。また、クーリングシェルターの指定について説明があった。

【教育委員会】

令和８年度一般会計補正予算では、こども家庭センター設置準備事業について確認した。また、体育施設留萌市スポーツセンターのLED改修工事に伴う令和８年12月14日から令和９年２月６日まで55日間の休館についての情報提供を受けた。さらに、学校給食における異物混入事案の発生、旧北光中学校体育館ジュニアスポーツ拠点化実証実験事業の実施、留萌市子育て世帯訪問支援事業の実施について説明があった。



▲留萌子育て世帯訪問支援事業

【市立病院】

令和7年度留萌市病院事業会計決算概要について確認した。また、留萌市立病院経営強化プランの目標達成に向けた具体的な取組や経営指標に係る数値目標など、早期の経常収支黒字化に向けた計画の見直しについての情報提供を受けた。

民生文教常任委員会 行政視察「熊本県荒尾市、福岡県大川市」

民生文教常任委員会は、熊本県荒尾市、福岡県大川市にて行政視察を行った。

荒尾市

荒尾市立図書館は、官民連携により新設・運営されている先進地であり、具体的にどのような取組で利用者増加など市民福祉の向上に繋がったのかを調査研究することを目的に視察を行った。この図書館は、荒尾市・商業施設・紀伊國屋書店による連携で、ゆめタウンシティモールという商業施設に移転され、デザインコンセプトに地元荒尾干潟をイメージすることによる郷土愛の醸成や、お話し会やナイトライブラリーといった、積極的なイベントと交流事業など特徴的な取組により、旧館4万人の年間来場者数が、移転初年度には28万人にまで増加している。また、児童生徒に配布されているタブレット端末から電子書籍を利用出来るデジタルサービスにも取組んでおり、若年層の利用数も高く推移している施設でもあった。



大川市



大川市子育て支援総合施設モッカランドは、妊娠期から子育て期まで、一人ひとりに寄り添った子育て支援とサービスをワンストップで提供するため、令和3年10月にオープンした施設で、事業完成に至るまでの協議内容や課題について調査研究することを目的に視察を行った。他県からの利用者受け入れもあり、想定を超える利用者数の増加による受け入れ制限や、資格を有する専門職員の安定的な確保と継続就労といった課題も抱えているが、視察時にこの施設を巣立った子どもが、遊びに来ている様子も確認でき、利用者にとって必要な施設であると認識できた視察であった。子ども家庭センターの設置は努力義務であるものの、未設置であった留萌市は第3回定例会で設置準備に向けた議案が提出されたが、市民にとって必要な施設とするための委員会総括として、提言もまとめている。

令和７年度決算審査特別委員会からの報告

（一部抜粋）

９月９日に決算審査特別委員会を開きました。

【総務費】

Q.地域の魅力向上発信事業の評価は。

A.動画をYouTubeの公式チャンネル「るるなび」で配信。11本から24本と大幅に増え、視聴回数も、前回の21倍となった。



Q.地域おこし協力隊活動支援業務委託料の不用額の要因は。

A.予算計上時は、募集業務委託とサポート業務委託の2本の内容だったが、募集事務を委託しない民間のサイトの広告料という形になったことが要因。

Q.令和7年度で終了した学生寮運営実証実験事業補助金の総括は。

A.きめ細かな生活サポート等、個々の学生の条件に応じた柔軟な運営が行われていた。課題として、運営にあたって、初期投資に関する負担が圧迫したこと、入寮の低下に伴う赤字リスクを市が補填し続けるのは厳しいものであること。

Q.新交流複合施設整備推進事業の進捗状況は。

A.物価高騰、資材高騰により、代替案の検討に入っている。

Q.道の駅るもいの自動販売機でできるふるさと納税の利用実績は。

A.利用が少ないとのことで、新たにできた拠点施設への移設について検討を進めている。

Q.住民票のコンビニの交付実績は。

A.2129通のうち道内で2081件、そのうち札幌137件、旭川で117件、道外で48件。

Q.卓球まちづくり推進事業の行政効果と課題は。

A.VICTASとの連携により指導者の留萌高校部活動指導や、全国大会への出場を果たすことができ、一定の実績が得られた。一方で幼少期から一貫した指導体制を構築、また地域外から生徒を定着させるまでにはいたらなかった。

【民生費】

Q.民生委員事業について現在の民生委員の人数は。

A.現在57名。令和7年の一斉改選の際、各町内会長に推薦をお願いしたが見つからず22名の欠員となった。

Q.成年後見制度利用支援助成金の事業概要は。

A.判断能力が十分でない高齢者、知的障害者、精神障害者方の自立した日常生活を支援する権利を擁護するため裁判の申立費用、成年後見に対する費用を支援するという制度。

【衛生費】

Q.医療人材交流拠点形成事業の評価は。

A.地域医療の重要性を把握することが重要だが、市に定着するということは難しい。市の魅力をいかにお知らせするのかということを考えながら、今後も事業を進めていきたい。

【労働費】

Q.地元企業人材確保応援事業の不用額の要因は。

A.企業の魅力を動画、インタビューで配信する専用サイト「はたらく!るもいびと」登録と合わせ、ホームページの作成に係る補助金で、30件で見込んでいたが4件にとどまった。

【農林水産業費】

Q.有害鳥獣駆除委託料の課題は。

A.猟友会の所属数が増加傾向で平均年齢も、60代を割り込んでいる。実際に熊を撃つことをどのように継承していくのかというのが課題。



【商工費】

Q.住宅改修促進助成金の周知は。

A.施工業者を通じ、ホームページ等も含め周知をしている。4月の上旬に申請開始、4月中にほぼ申請が来るというような状況で、十分周知されていると考える。

【土木費】

Q.海洋再生可能エネルギーの予算との乖離の要因は。

A.市主催のセミナーが北海道の事業に採択され、道外の視察は漁業関係者との調整がつかなかったことにより、断念したことが要因。

【教育費】

Q.温水プール利用促進事業の評価は。

A.一般開放日の拡大、遊具による子どもたちの遊び場を作り、水泳教室等の拡充ということで、一般開放の日数が伸びた。トータルで347名増加。また、閉館期間の冬期にウォーキングコースとしてプールサイドを開放し、206名増加。



Q.ECタイム導入委託料の評価は。

A.子どもたちが英語に触れる機会が増え、3年生からの本格的な外国語活動に向けてやる気の向上や抵抗感などが軽減される効果があった。

Q.部活動地域移行体制整備事業の不用額の理由は。

A.調整が難しかったことから検討委員会の視察がなかったこと、月に4回の休日指導が、人材確保の困難さもあり、予定の指導回数に達しないことによる報酬の減が主な理由。

Q.旧佐賀家漁場管理事業の見学者が増加した要因は。

A.公開初日にNHKで報道されたことが主な要因。

【留萌市議会事務局】TEL42-1907 FAX43-6700 URL:https://www.e-rumoi.jp/gikai/index.html E-mail:rumoishigikai@basil.ocn.ne.jp

留萌市議会 YouTube

令和8年第3回定例会　一般質問と答弁　①



鈴田 亜湖（すずた あこ）【萌芽クラブ】

質問　留萌の魅力を未来へつなぐ観光振興

全国的に海水浴を取り巻く環境が変化する中、ゴールデンビーチるもいをこれからの時代に合った魅力ある海水浴場として育てていくことが必要ではないか。また、南側トイレの洋式化について市の考えを伺う。

答弁　ゴールデンビーチは本市を代表する夏の観光資源であり、今後も魅力を守りながら施設の老朽化に対応していく。南側トイレの洋式化については必要性を認識しており、財源を確保し、指定管理者と協議しながら、なるべく早期に整備したい。



▲新たな人の流れが生まれる道の駅るもい周辺

質問　観光による人の流れを市内の飲食、買い物、宿泊などにつなげ、地域経済へ波及させることが重要と考えるが、市長の考えを伺う。

答弁　海水浴場や港、黄金岬、波や夕日など、留萌の地域資源をトータルで発信し観光による経済効果を市内で循環させ、市民がメリットを受けられるような観光戦略を考えていきたい。



小野 敏雄（おの としお）【萌芽クラブ】

質問　市立病院の医師確保の活動状況を伺う。

答弁　旭川・札幌の医科大学や国や道の関係機関を数度訪問し、常勤医の派遣要請と地域の医療を守るための協力要請した。

質問　市立病院の令和7年度の決算は純損失8億円以上、市一般会計からの繰り出し金は13億円以上だが財政支援の在り方について伺う。

答弁　留萌市の財政規模から考えて市の一般会計からの繰り出し金は13億円程度が限度額でと考えている。ただ、今後の状況によっては繰り出し基準を超えても基金などの活用を考慮しながら支援していかなければならないこともある。

質問　金銭的な支援のほかに市立病院を支援する施策について伺う。

答弁　市立病院単独で悩むのではなく市全体の医療政策のなかで地域医療をトータルで支えていく環境を整えていきたい。



▲経営強化プランを作成する市立病院



宇川 達朗（うかわ たつろう）【萌政会】

質問　ワクチン接種しやすい環境の整備

市立病院の小児予防接種は、火・木曜日の午後1時30分から3時までの完全予約制である。働く保護者には勤務時間中で、就学児は学校を早退せざるを得ない。接種曜日や時間帯を改善する考えはないか。

答弁　限られた医療従事者で外来診療や入院患者への対応を行いながら、接種体制を維持している。通常診療への影響に配慮し、現場の意見を聞きながら、無理なく継続できる体制の中で検討する。

質問　保護者の利便性向上と職員の電話対応の負担軽減のため、ウェブやＬＩＮＥなど電話以外の予約方法を導入する考えはないか。

答弁　有効な手段の一つと認識している。費用、操作性、個人情報の取扱い、既存システムとの連携を踏まえ、予防接種だけでなく、健診・診療予約など病院全体の推進の中で総合的に検討する。



▲時間や予約方法を検討する小児ワクチン



横田 美樹（よこた みき）【無会派】

質問　災害時の福祉を守る体制強化

能登半島地震では、避難生活の長期化により、災害関連死が大きな課題となった。本市でも、豪雪、暴風雪、停電、孤立集落など冬季特有のリスクがある。避難行動要支援者の個別避難計画の作成状況、管内でＤＷＡＴ登録者がゼロである現状、避難所での健康管理や感染症対策、公

留萌市議会 YouTube

令和8年第3回定例会　一般質問と答弁　②

村上 雅彦（むらかみ まさひこ）【無会派】



質問　**市庁舎を含む複合施設について**

現在様々な検討が進められているが、これまでの検討状況を勘案すると、旧ＪＲ留萌駅跡地に建てるしかないと思われるが、市長の考えを伺う。また、限られた財源の範囲内で整備することも考えられるが、市長の考えを伺う。



▲築64年の市庁舎

答弁　基本構想の中で建設場所として示しているとおり、旧ＪＲ留萌駅跡地が持つ立地上の優位性に加え、公共交通の結節機能や防災対策、行政サービスなどを一体的に考えると旧ＪＲ留萌駅跡地を基本として施設整備を進めていくことが最も合理的である。また、実質公債費比率の推移を踏まえて、負担可能な上限額を見極めた上で、その範囲内で整備しなければならない。その場合には、事業手法や庁舎の分散化も含めて、整備費の圧縮が図られる代替案について検討する必要がある。



▲地域を守る支援体制づくり

災害対応型ＢＣＰの見直しについて伺う。

答弁　市は、個別避難計画を町内会や自主防災組織へ依頼し、現在５団体38名分を作成している。ＤＷＡＴは北海道全体で２６２名が登録される一方、留萌管内はゼロ名であり、登録者確保が重要とした。今後は北海道、社会福祉協議会、医療・福祉関係機関と連携し、制度周知や登録への働きかけを行う。避難所では救護班を設け、保健師等が健康相談や栄養指導を行い、感染症対策や冬季災害ＢＣＰの見直しも進める。

小沼 清美（こぬま きよみ）【無会派】



質問　**高齢者の通院支援について**

市立病院への乗り入れバスの少ない藤山地区のような通院困難地域を対象に「へき地患者移送事業」を拡充すること、また、介護認定者も利用できる制度へ改善を行う考えはないか伺う。



▲へき地患者移送事業に使用される車両

答弁　「へき地患者移送事業」の対象地区は、幌糠・峠下・タルマップなどとなっているが、その沿線を走るバスは、行きの時間帯は7時台に1本、帰りの時間帯は15時台に1本と、へき地患者移送事業の対象ではない藤山地区の住民にとっては選択の余地が少ないことから、この事業において柔軟な対応ができないか検討していきたい。また、この制度は介護認定を受けている方は登録できないという形になっているが、身体的介助が必要のない歩行ができるような方もいらっしゃるということも認識しているので、柔軟な対応ができないかどうか検討する。

村上 均（むらかみ ひとし）【留萌公明党】



質問　**道路政策について**

歩道整備対策について①堀川町側歩道対策②緑ヶ丘2号通りの通学路歩道確保等の検証について伺う。

答弁　①片側歩道で幅員が狭く、次の第６次道路整備計画でこの対象路線を早期に対応したい。②市道２号線「アイトシナイ線」交差部から西５号通りの約１５０メートル区間が歩道未整備となっている。当該箇所は令和６年６月に留萌市通学路安全推進協議会と合同点検でも、課題として指摘された所で、次の道路整備５カ年計画で早期整備が必要である。

質問　**空き家対策について**

所有者不在の特定空家等に対し、今後どう対応していくのか伺う。

答弁　空家等審議会でのご審議ご意見を戴き略式代執行による除却を進めている。今後も所有者の確認ができない特定空家について、その都度優先度を判断し毎年度2件程度の略式

【留萌市議会事務局】TEL42-1907 FAX43-6700　URL:https://www.e-rumoi.jp/gikai/index.html　E-mail:rumoishigikai@basil.ocn.ne.jp

留萌市議会 YouTube

令和8年第3回定例会　一般質問と答弁　③



▲歩道整備が待たれる市道五十嵐通り

代執行による除却を進めていきたい。

戸水美保子（とみずみほこ）【留萌公明党】

質問　**中心市街地の再生について**

市長は市政執行方針において、立地適正化計画の作成や旧駅前地域での新交流複合施設の検討を示し、都市機能の誘導とにぎわいの再生に取り組むと述べている。

しかしながら現在も、中心部の衰退が進んでいる。この衰退を放置した場合の留萌市としての損失をどのように評価しているのか伺う。

また、若者や子育て世代、高齢者が自然に集まれる空間の再生を含め、現状をどう認識し改善していくのか、市長の具体的な考えを伺う。

答弁　今後も、商店街振興組合連合会や留萌商工会議所などの関係団体や関係機関と連携し、商店街の活性化に向けた事業に取り組む。

また、関係団体と協議を重ねる中で「中心市街地活性化基本計画」の策定の必要性について、調査研究していく。



▲市街地の様子



村山ゆかり（むらやま）【無会派】

質問　**新交流複合施設整備方針**

物価高騰、資材価格高騰で建設費が100億円以上と推定され、代替案を検討しているが方針を聞きたい。

答弁　庁舎機能と市民交流機能、コンベンションホール機能を別棟にすべきかなど、事業手法や庁舎の分散化も含め、整備費の圧縮が図られる代替案を検討している。来年度以降、基本設計、実施設計、建設工事、順調に進んだとして2032年には供用開始を予定している。

質問　**市立病院空き病床の利活用**

令和6年度末の病棟再編・病床数適正化により稼働病床144床となり4階と5階病床が廃止となった。新たな利活用内容をお聞きする。

答弁　現在、4階に「留萌地域訪問看護ステーション」が入居している。今後も収益を生む利活用方策を模索したい。市役所の分散化の一部として検討したが、床の強度不足などで難しいと判断。



▲新たな利活用が検討されている市立病院4階、5階の空き病棟



野崎良夫（のざきよしお）【無会派】

質問　**「新しい施設家賃に疑問」との投書の件について**

令和7年6月7日付の地元紙に、劇作家益田留の名で投書があった。議会に籍を置く一人として看過出来ない「自己修正機能」なる言葉の目的と意図について伺う。

答弁　市民であった当時と現在では立場や果す役割が異りますが、市議会での議論、ご意見、ご指摘に誠実に向き合い説明責任を果たしながら、市政運営に当って参いる所存である。

質問　**高齢者の一人くらしについて**

市長は「誰一人として取り残さない」と申されているが、一人くらしの高齢者対策は重要な社会問題となっている。「終活ノート」の策定や「一人くらしの支援条例」の制定について伺う。

答弁　終活ノートは重要であると認識しているので普及を考えている。

条例の必要性について調査・研究を行う。「宣言」も考えて行く。



▲エンディングノート冊子

議会の動向

令和8年6月2日から令和8年9月1日までの議会の動向を報告します

8.6.2 令和8年留萌市議会第2回定例会開会日
〃 全員協議会
6.6 自由民主党北海道第十選挙区支部留萌管内移動政調会
6.11 一般質問
〃 議会運営委員会
6.12 一般質問
6.14 第二師団創立七十六周年・旭川駐屯地開設七十四周年記念行事
6.15 令和8年度予算審査特別委員会
6.16 本会議
6.17 全員協議会
6.22 留萌地域総合開発期成会令和8年度定期総会・地元要望
6.23 留萌地域総合開発期成会札幌要望
6.24 留萌地域総合開発期成会中央要望
6.25 留萌地域総合開発期成会中央要望
6.30 客船「飛鳥Ⅱ」留萌港寄港歓迎セレモニー及び船内見学会
〃 令和8年度第1回まちづくり懇談会見学
7.2 民生文教常任委員会行政視察(熊本県荒尾市、福岡県大川市)
〃 江別市議会総務文教常任委員会行政視察
7.5 留萌駐屯地創立七十三周年記念行事
7.7 全国市議会議長会基地協議会第115回理事会
7.9 岐阜県関市議会市議会公明党行政視察
7.13 議会広報広聴常任委員会
7.14 議会運営委員会
7.15 全国市議会議長会基地協議会北海道部会役員会
〃 アウトドア・アクティビティ拠点施設オープニング記念講演及び交流会
7.16 アウトドア・アクティビティ拠点施設オープニングセレモニー
7.17 海上自衛隊護衛艦「あきづき」及び「きりさめ」入港歓迎式、特別公開、乗組員との交流会
7.20 海上自衛隊護衛艦「あきづき」及び「きりさめ」見送り
7.21 民生文教常任委員会
7.22 福岡県那珂川市議会清流自民・公明党行政視察
7.23 総務経済常任委員会
〃 全員協議会
〃 新交流複合施設建設に関する特別委員会
7.23 各派代表者会議
7.24 るもい呑涛まつり式典
7.27 議会運営委員会
〃 各派代表者会議
7.29 総務経済常任委員会行政視察(石川県加賀市、小松市)
7.31 客船「飛鳥Ⅱ」留萌港寄港歓迎セレモニー及び船内見学会
8.2 富士登山駅伝大会現地応援
8.5 富士登山駅伝競走留萌自衛隊チーム選手お出迎え
〃 全員協議会
〃 議会広報広聴常任委員会
8.6 第26回「ユニオン・福対協」チャリティービアパーティー
8.7 議会運営委員会
8.17 各派代表者会議
〃 議会運営委員会
8.18 総務経済常任委員会
8.19 民生文教常任委員会
8.20 令和8年度留萌市平和祈念式典
〃 新隊員35km徒歩行進訓練の激励
8.28 議会運営委員会
9.1 令和8年留萌市議会第3回定例会開会日

議会モニターからの意見を基に改善

留萌市議会は「議会基本条例」を基にわかりやすく開かれた議会を模索するため「議会モニター」5人(5月委嘱)から、議会に対する率直な意見をいただいています。6月、9月の定例会を傍聴いただき「傍聴環境について」「一般質問の姿勢について」「議会だよりについて」「決算審査特別委員会について」「議会運営など全般について」など評価アンケートに答えていただきました。

これまでに改善した内容として、傍聴環境では「議場内のスピーカーの再チェック」「議場入室前の注意喚起表示」、一般質問では「議員からの通告のあり方」を検討しました。また、議会だよりでは「こんなことが決まりました」のコーナーは、市民には分かりづらいというご意見を受け、11月号より改善し、日ごろの議会活動がより分かりやすく市民に伝えるコーナーとしています。今後、第3回定例会のモニターからの評価を確認し、議会運営委員会で検証、具体的な対応を検討します。議会モニターの任期は、令和9年3月31日まで。

こんなことが決まりました 令和8年 第3回定例会 9月1日～10日

令和8年度 留萌市議会議員出席状況

(令和8年4月1日～令和8年9月30日)

※委員会は開催状況によって出席回数が異なる
※(―)は出席対象外の会議

議員名／開催日数	①宇川 達朗	②村上 雅彦	③田村 裕樹	④川村 忠司	⑤燕 昌克	⑥横田 美樹	⑦鈴田 亜湖	⑧小野 敏雄	⑨小沼 清美	⑩戸水美保子	⑪米倉 靖夫	⑫村山ゆかり	⑬野崎 良夫	⑭村上 均
定例会(開会日)	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
臨時会	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
特別委員会(予算審査)	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
特別委員会(決算審査)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	―
議会運営委員会	14	13	―	14	13	14	―	―	―	―	―	―	14	―	14
総務経済常任委員会	6	6	6	―	―	―	―	6	6	―	6	―	6	6	―
民生文教常任委員会	6	―	―	6	6	6	6	―	―	6	―	5	―	―	6
議会広報広聴常任委員会	7	7	7	―	7	―	7	7	―	7	7	―	7	―	―
全員協議会	6	6	5	6	6	6	6	6	5	6	6	3	6	4	6

編集後記

●先日「留萌市防災ガイドマップ」が配布されました。災害への備えは進んでいますか？自分の地域の避難所は、災害によっては利用できないところもあります。是非、ご確認を！（雅）

フェイスブックもチェック

留萌市議会　フェイスブック

※QRコードまたはキーワードで検索願います。

【留萌市議会事務局】TEL42-1907 FAX43-6700 URL:https://www.e-rumoi.jp/gikai/index.html E-mail:rumoishigikai@basil.ocn.ne.jp